

科目名	心理学実験演習Ⅰ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	長 野 恵 子・西 村 喜 文・池 田 久 剛						
開講年次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	まず、心理学における実験とは何か、実験の計画と実施、研究論文・レポートの書き方、実験を行うに当たっての留意点について解説する。その後、与えられた実験テーマに沿って実験を行い、データの整理、レポート作成、発表と討論を、2・3週間で1サイクルとして進め、心理学の実験的研究法を理解する。テーマとしては、知覚・認知、知能、性格などを取り上げる予定である。						
授 業 の 到達目標	1) 心理学実験において守るべき、倫理を理解する。 2) 実験する際に必要な中立的な態度を身につける。 3) 検査者－被検査者が協力し合い、実験を進めることができる。 4) 被検査者を尊重した態度で実験に臨むことができる。 5) 実験の結果を基に表を作成したり、必要な計算ができる。 6) 得られたローデータを結果として適切にまとめることができる。 7) 結果から、筋道の通った論理的な考察をすることができる。 8) 1)～7)をふまえ、適切な文章にまとめ、レポートを作成し、提出することができる。 9) 以上のようなプロセスを繰り返し体験することで、心理学的な事象を科学的に研究する方法・手段を身につける。 10) 以上のような体験を通して、心理学に対する理解をさらに深め、心理学研究に必要な基礎知識や技法、および態度を体得する。						
学習方法	心理学に関する実験を行う。						
テキスト及び参考書等	『教材心理学』（ナカニシヤ出版）、その他随時プリント等を配布する。 関係参考書は適時指示する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎	◎	◎			60
授業態度	◎	◎	◎	◎			20
受講者の発表	○	○	○	○			10
授業への参加度	◎	◎	◎	◎			10
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	ガイダンスー心理学における実験とは・倫理ー						
第 2 週	知能に関する実験①						
第 3 週	知能に関する実験②						
第 4 週	性格に関する実験①						
第 5 週	性格に関する実験②						
第 6 週	知覚・認知に関する実験①ー1						
第 7 週	知覚・認知に関する実験①ー2						
第 8 週	知覚・認知に関する実験②ー1						
第 9 週	知覚・認知に関する実験②ー2						
第 10 週	小集団実験①						
第 11 週	小集団実験②ー1						
第 12 週	小集団実験②ー2						
第 13 週	小集団実験③ー1						
第 14 週	小集団実験③ー2						
第 15 週	前期実験結果の振り返りとまとめ						
第 16 週							
備 考							